

令和4年10月13日(木)

## 学校の真ん中にある“学習センター”

山形県立鶴岡中央高等学校  
校長 兼子 由香

### 1 本校概要

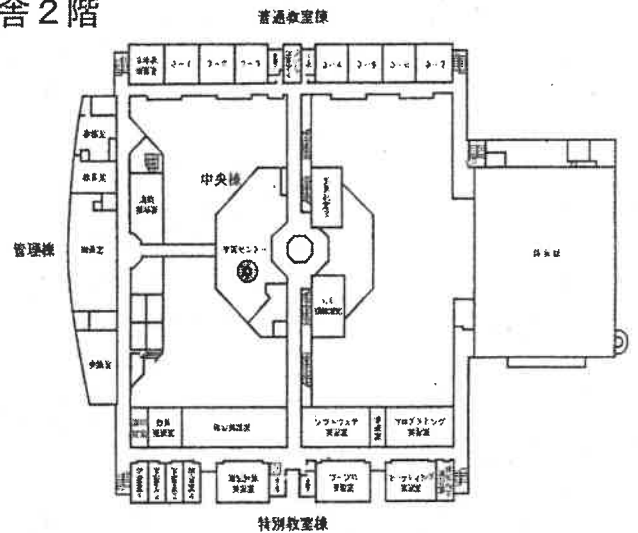
平成10年4月、鶴岡家政高校、鶴岡西高校が統合し新設された。普通科、総合学科があり、当時は各4クラス 生徒数820名定員の学校となった。令和4年現在、普通科3クラス、総合学科3クラス 240名定員となる。

普通科は、選択により2年次から人文科学コースと自然科学コースに分かれる。総合学科は、美術デザイン、情報ビジネス、家政科学、福祉の4つの系列に分かれている。(学校案内参照)

### 2 「学習センター」の設置

開校当初から、「新しい時代に適応できる人材の育成」を目指し教育活動がなされている。このような経緯から図書館は校舎の真ん中に“学習センター”の名称で設置された。通称「学セン」と呼ばれ活用されている。「学セン」と校舎のすべてが繋がっていることから、通行も多く展示などの需要も高い場所である。

校舎2階



### 3 令和2年度 子供の読書活動優秀実践校・図書館・団体(個人)の文部科学大臣表彰を受賞する。

### 4 取組み実践

#### (1) 授業での活用

・年間200時間利用

○高校生と藤沢周平に取り組む 【課題国語、書道】

○「総合的な探究の時間」「産業社会と人間」「探究的学習」で活用。

○「課題〇〇」の授業での活用。

・図書館オリエンテーション【情報の科学・社会と情報→情報Ⅰ、国語】

・検索システムの活用(令和3年度より「カーリル」蔵書検索システム導入)

・平成25年度からipad48台導入。→ インターネット検索が増える。

・新聞(1クラス1新聞の寄贈「山形新聞」)

・「鶴岡中央高校生に読んでほしい新書110」をおすすめ本を選び配布。

○長、中期休業期間に読書の課題を課す。

・一人一台端末の活用(学習センター課に情報主任を配置)

・「探究学習」のコーナーの設置



## (2) 活用しやすい「学セン」の取組み

生徒視点で「学セン」を変える ～美術デザイン系列と共に～

- ・館内の配置の変更（空間デザイン）
- ・館内掲示の作成（ビジュアルデザインⅡ）
- ・「考える・まとめる・発表する」探究型学習の先駆け。



## 4 今後の課題

スマートフォン、タブレットの普及によって、読書離れが加速化しないようにしなければならない。「検索＝調べること」ではない。じっくり文献を読み込むことで、語彙力つく、相手に伝えるための共通言語を獲得する、分かりやすく論述するなど、そういう力を獲得することが必要である。「探究型学習」には、読書が必要である。